

大安寺報

第62号



曹洞宗 圓祥山大安寺
住職：長岡 俊應
副住職：長岡 俊成
〒039-4401
青森県むつ市大畑町
本町 80 番地
Tel 0175-34-2926
Fax 0175-34-6426
E-mail info@daijanji.jp
http://www.daijanji.jp

名句・名言に学ぶ

種田山頭火(俳人)

窓あけて窓いっぱい春

大雪に見舞われたこの冬でしたが、気温が少しづつあがって雪どけが進み、花の芽もふくらみつつあり、春の到来を感じる今日この頃です。

種田山頭火は自由律俳句の俳人として、日本全国を雲水姿で旅しながら俳句を詠んだ人物として知られています。時に酒に溺れ、妻子を置いて東京に出奔するなど、その破天荒な行状が注目されがちな山頭火ですが、そこには、多くの苦難に見舞われたという背景がありました。山頭火は山口県防府市の大地主の長男として生まれましたが、彼が十歳の頃、父・竹治郎の芸者遊びなどを苦にした母・フサが自死。また、その頃を境に家業が傾いていきます。三十四歳の頃、種田家が経営していた酒造所が破産し、一家離散の憂き目に遭います。妻・

サキノと長男・健とともに友人を頼って熊本へ移り、古書店を経営するも弟・二郎の自死により彼を一層酒に向かわせ、三十七歳にして妻子を熊本に残したまま上京。四十一歳で関東大震災に遭い、離婚した元妻・サキノのもとへ逃げ帰ります。さらに酒浸りとなった彼を見かねた顔見知りの記者によつて市内の報恩禅寺(曹洞宗)に預けられ、寺男を経て出家得度。それ以後、既に俳句会で頭角を現していた彼は雲水姿で全国を旅しながら句作に励み、五十八歳の時に脳溢血のためその生涯を閉じました。冒頭の句は、昭和十三年(五十六歳)の作であり、春の花咲く美しい景色を求めて窓を開くという、希望に満ち溢れた心境を詠んだものです。山頭火の自堕落ともいえる行状は自身が蒔いた種と断ずることもできませんが、肉親との突然の別れという不条理が根底にあり、優れた俳句はその僧侶としての「忍辱(耐え忍ぶ)修行」の果実といえるのではないのでしょうか。この句にある「窓」が自分と世界とを隔てる認識の障害

を意味するとすれば、山頭火自身が己の小さい世界を打ち破り、その心の窓を外に開くことができたことで、あらためて世界の本来の美しさに気づくことができたといえます。さて、コロナ禍という、いわば忍辱修行の真つただ中にいる私たちは、その果てにどんな花を見、果を実らせることができるのでしょうか？そのことが私たち一人一人に問われているように思います。合掌(副住職)



大安寺
公式ホームページ

スマートフォン・
タブレット端末の
カメラ機能で
読み取ってください。



大安寺
公式 facebook ページ

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県 永平寺・神奈川県 總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)

□新型コロナウイルス感染拡大防止のための当寺の対応について

- ・屋内ではマスクを着用ください。
 - ・本堂及び位牌堂へのお参りは、混雑時を避け、短時間かつ最少人数でお願いします。又、屋内での飲食は控えください。
 - ・以下のいずれかに該当する場合は法要への参列・参拝をお控えください。
 - 発熱(37.5度以上)、又は咳、痰、息切れ等の症状
 - 味覚・嗅覚異常(2週間以内)
 - ・おいでの際とお帰りの際は、必ず手洗い、もしくは手指の消毒をお願いします。
- ※感染拡大の際は法要を無参列法要とし、行事自体を中止する場合があります。その際は、公式HP等でお知らせします。
- 【葬儀・法事について】
- ・人数制限は設けず、席と席の間隔をあけ、換気を頻繁に行うなどの対応をします
 - ・スマホなどでネット中継ができるようWi-Fiを整備しましたのでご利用ください。

行事予告

大安寺 花まつり

お釈迦さまの誕生をお祝いする恒例行事を開催いたします。

※新型コロナウイルス感染状況によっては内容を変更する可能性があります。

- 開催日：令和三年五月八日(土) 午前九時～午後二時
- 共催：大安寺保勝会
- 釈尊降誕会法要 午前十一時～(本堂にて)

曹洞宗テレホン法話
曹洞宗宗務庁運営
0120-508-740
携帯の方は 03-3454-5410
※5月25日～31日
「お薬師さまに願いを込めて」
(副住職担当)

曹洞宗テレホン法話「心の電話」
曹洞宗東北管区教化センター運営
022-218-4444
※5月21日～31日
「ピンチはチャンス」
(副住職担当)

【維持費納入について】
○令和二年度分維持費(四千元)の納入がお済みでない方、また、お手元にゆうちよ銀行払込取扱票(護持会日より、決算書含む)が届いていない方は、当寺までご連絡ください。なお、令和三年度分維持費の取扱票は令和三年六月末から郵送もしくは各地区役員さんを通してお手元にお届けいたします。

- 甘茶かけ 午前九時～(本堂前にて) ※先着百名さまに、甘茶バック(お子さま向け)を進呈
- お茶会 午前九時～午後二時(茶室にて)
- チャリティーメールシエール 午前九時～午後二時
- ☆チャリティーメールシエール出店要項
 - ・出店料：千円/区画・2m×2m程度※テント・椅子・机はご用意します。
 - ※参加申し込みは、四月三十日(金)までに、メール(info@daijanji.jp)、Fax(0175-34-6426)、電話(080-2042-8337)にて、「グループ名」「代表者氏名」「電話番号」「主な販売物」をご連絡ください。

各種講座のご案内(令和三年四・五月)

- ※新型コロナウイルス感染拡大の場合は中止する場合があります。なお、当面の間、茶話会の開催は見合わせます。
- ◆「月例写経・写仏会」(予約不要)
 - 日時 四月二十五日(日)、五月二十三日(日) 午後一時～三時
 - 内容 ミニ法話・写経・写仏
 - 場所 中広間 参加費 一三百円 備考 椅子席
- ◆「暁天坐禅会」(予約不要)
 - 日時 四月四日(日)、十八日(日)、五月二日(日)、十六日(日) 午前七時～八時 ※坐禅指導希望の方は午前六時半集合
 - 内容 禅語紹介・坐禅・朝のおつとめ(法要)
 - 場所 本堂 参加費 無料 備考 椅子坐禅可能 服装 動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)

行事カレンダー(令和三年三～五月)

- 三月十五日(月) 午前十一時～ 「涅槃会法要」(本堂)
- ※お釈迦さまの入滅(涅槃)にちなみ、報恩感謝する法要です。
- ※新型コロナウイルス感染防止のため、「だんごまき」は中止します。
- 三月二十日(土・春分の日) 午前十一時～ 「春季彼岸会法要」(本堂)
- ※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂にて
- 五月八日(土) 午前十一時～ 「降誕会法要」(本堂)
- ※お釈迦さまの降誕(誕生)にちなみ、報恩感謝する法要です。

編集後記

ワクチン接種が遅々として進まず、未だコロナ禍の収束が見通せません。一方で季節は刻々と春へと移り変わろうとしています。まずは、共に「今、ここ」を大切に味わい、春の花や風景を愛で、季節の行事を楽しみむことで自身の心を調えたいものです。(副住職)

次号のご案内 令和三年六月上旬に発行予定です。